

令和5年度の取組

レガシー⑥多様な主体が地域づくりに貢献しているまち

1.今年度の主な取組

■地域包括ケアシステム連絡協議会の開催《健康福祉局》

【実施概要】多様な主体が「顔の見える関係づくり」や「連携のきっかけづくり」に向け参画団体による活動紹介やグループディスカッション等を実施した。
 【実施時期／参加者数】①令和5年9月／45名 ②令和6年2月／50名
 【実施場所】①第4庁舎2階ホール ②本庁舎2階ホール
 【対象】保健医療福祉関係団体、市民公益活動団体、青少年支援団体、企業等

ディスカッションの様子



■川崎ワカモノ未来プロジェクトの実施《市民文化局》

【実施概要】高校生が自分が本当にやりたい事を見つけ、大学生や地域のメンターのサポートを受けながら、主体的にまちづくりを実践する中で、パラムーブメントの理念を同時に学べるよう、本年度は取組の実践期間中に、ピープルデザイン研究所による研修会や、パラムーブメントに関わる地域の活動者との交流を行った。結果として、成果発表会で20名が取組を発表する中で、LGBTQIAや多世代の孤立化など、パラムーブメントにつながる事例発表を生んだ。

参加者と地域メンターさん



【実施時期】令和5年11月23日から令和6年2月11日

■まちのひろばフェス2023の実施《市民文化局》

【実施概要】コミュニティ施策や地域包括ケアシステム構築につながる約20の団体や中間支援組織が参加し、特設ステージでの活動紹介やアトリウムでのブース出展、3つのシンポジウム（2Fホール）を行ったほか、スカイデッキではバラアート展なども行い、参加者への施策理念の周知と参加団体のエンパワメントを行った。

来場者で賑わうアトリウム



【実施時期／来場者数】令和5年12月2日／500名

■福祉事業所と連携した啓発グッズの制作《市民文化局》

【実施概要】武蔵新城の福祉作業所《わとわ》と連携し、パラムーブメントのロゴをタグにあしらったグッズを作成・配布することで、パラムーブメント推進に向けた意識醸成を図った。

ばらのひろば巾着



■パラムーブメントにつながる市民活動支援《市民文化局》

【実施概要】かわさき市民活動センターが市の補助を受け、市内で公益的な活動をしている市民活動団体等による事業を資金面から支援する「かわさき市民公益活動助成事業」を実施し、要介護者のレクリエーションやスポーツ、外国人の日本語学習、多文化表現などの活動を支援した。

■パラムーブメント推進に向けた広報の実施《市民文化局》

【実施概要】福祉作業所の取組やパラスポーツに関する動画を作成・公開したほか、Instagram等を通じ、障害をお持ちの方が活躍しているお店の紹介等を行い、新たな興味関心層への意識啓発を図った。

■障害者作品展の開催《健康福祉局》

【実施概要】障害者作品展実行委員会の企画・運営により、応募作品（絵画、写真、書、手芸等）約150点を展示するとともに、来場者向けのアイロンピーズ作りとパステルアートのワークショップを実施した。
 【対象】市内在住・在勤・在学の障害児者
 【実施時期】令和5年12月13日（水）から17日（日）

■識字学習活動の実施《教育委員会事務局》

【実施概要】外国人市民等を対象に、日常生活に必要な基礎的な日本語を身に付けるための学習支援と、学習者と支援者（ボランティア）が共に学び合う多文化共生社会の実現を目指す識字学習活動を教育文化会館・市民館・ふれあい館（8館15事業）で実施した。

■識字ボランティア研修の実施《教育委員会事務局》

【実施概要】市民及び識字ボランティアを対象に、識字学習活動に係るボランティア等に関する入門研修及びブラッシュアップ研修を、教育文化会館・市民館・ふれあい館（8館18事業）で実施した。

ゆめみらい交流会の看板



■「ゆめみらい交流会」の開催《幸区》

【事業概要】地域の「つながる」場の提供のため、「秋の動物園まつり」の場で、区内福祉事業所のアーティストが作成した「ゆめみらい交流会」の看板を掲げ、交流会の周知・参加促進を図った。
 【実施場所／実施回数】夢見ヶ崎動物公園／年6回

■パサージュ・たまの開催《多摩区》

【事業概要】障害に関する啓発のため、区内作業所などの作品の展示やお菓子などの販売を行った。
 【実施場所】①多摩区総合庁舎1Fアトリウム ②登戸駅南北自由通路
 【実施時期】①令和5年4月から7月及び12月から令和6年3月まで、月2回
 ②令和5年9月から11月まで、月1回

多摩区内作業所の作品展示



■あさのおみせの開催《麻生区》

【事業概要】障害者の社会参加機会の確保や地域社会における共生を促進するため、麻生区役所で障害者が障害福祉施設で作成した製品を販売した。
 【実施場所】麻生区役所4階エレベーター降りて右手すぐ（旧売店跡地）
 【実施時期】通年（火、木、金9時30分から12時30分まで営業）※土日祝、年末年始を除く

2.令和6年度の取組の方向性

■現在の状況

◎「令和5年度かわさきパラムーブメント意識調査」の結果では、地域活動に社会的マイノリティが参加している人の割合は、前年調査に比べ5.5ポイント上昇しているが、参加していない人の割合も7.1ポイント上昇している。

※参加している人の割合 今回調査：37.6%（前年調査：32.1%）
 ※参加していない人の割合 今回調査：41.1%（前年調査：34.3%）

■方向性

引き続き、より多くの社会的マイノリティが参加する地域活動を増やし、持続可能なまちづくりを進めていくため、多様な主体が連携・協働しながら共生社会の実現に向けた様々な活動に取り組んでいく。

3.市民等の意見聴取

アドバイザーについては、それぞれの施策を推進する上で、必要に応じて活用を検討する。